

令和5年度

9月補正予算説明資料

府中市

1 予算編成方針

9月の一般会計補正予算は、引き続きエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている住民や事業者への支援策のほか、翁座の保存・活用にかかる経費や今後予想される被害も想定した災害復旧経費など、当初予算編成後の情勢変化等を踏まえ、歳入・歳出それぞれ4億3,163万3千円の予算を計上しました。

2 一般会計の主な補正内容

電力・ガス・食料品等価格高騰対策

(I) 住民への生活支援

○【新規】省エネ家電買替支援事業 40,000千円 《環境整備課》**資料1**

省エネルギー性能の高い家電製品に買い替える費用の一部を補助することにより、原油価格・物価高騰による家計負担の軽減とカーボンニュートラル推進を図ります。

《一般財源[※]40,000千円》

(II) 事業者への支援・消費喚起

○【一部新規】府中市バスツアーによる観光誘客支援事業 5,000千円 《観光・地域ブランド推進課》**資料2**

物価高騰等により経営に大きな影響が出ている市内の貸切バス事業者への事業継続の支援を行うとともに、市内の観光施設や観光コンテンツに誘客を図ることで、観光消費の喚起を促します。

《県費2,500千円、一般財源[※]2,500千円》

備考) 一般財源[※]は地方創生臨時交付金の充当対象一般財源を示しています。

情勢変化等を踏まえた追加の対応

○【拡充】医療的ケア児通学支援事業 1,000千円 《福祉課》

通学中のケアが必要なために通学が困難となっている児童生徒の学習機会の保障と、送迎等を行っている保護者の負担軽減を図るため実施している医療的ケア（介護タクシー等に看護師等が同乗）の支援を拡充します。

《一般財源1,000千円》

○【継続】公共施設維持整備基金積立 100,000千円 《財政課》

老朽化による将来的な公共施設の維持更新費用の増大に備え、公共施設の適正な管理を行うとともに、公共施設の計画的な維持修繕及び整備に必要な財源を確保するための基金積立てを行います。

《一般財源100,000千円》

○【継続】歴史的建造物（翁座）保存・活用事業 23,000 千円 《観光・地域ブランド推進課》資料3

これまでの痕跡調査や保存活用検討委員会での検討を踏まえ、文化的価値を残しながらも観光施設としての上下地域のランドマークとして活用を図っていきます。

《国費 11,500 千円、市債 11,500 千円》

○【継続】災害復旧事業 156,000 千円 《土木課》

今年 4 月から 7 月にかけての大雨により、道路の路肩崩壊、護岸崩壊等の被害が多数発生していることから、被災箇所の復旧工事を早急に進め、併せて想定される今後の災害に備え、市民の安全・安心を確保します。

《国費 76,705 千円、市債 64,200 千円、一般財源 15,095 千円》

3 繰越明許費

- ・ 駅周辺の賑わいづくり事業（i-coreFUCHU） 202,882 千円
- ・ 歴史的建造物（翁座）保存・活用事業 23,000 千円
- ・ 普通四輪小型動力ポンプ付積載車整備事業 22,120 千円

4 債務負担行為

【追加】

- ・ 市立保育所給食調理等業務委託料（令和 6 年度～令和 10 年度） 354,000 千円
- ・ 府中明郷学園通学バス運行業務委託料（令和 6 年度～令和 8 年度） 197,991 千円

5 特別会計等の補正内容

《国民健康保険特別会計》 28,186 千円 【市民課】

令和 4 年度決算剰余金から県への返還金等を除いた残額を国民健康保険財政調整基金へ積み立てます。

《歳出：返還金 8,659 千円、基金積立金 17,712 千円 ほか》

《介護保険特別会計》 152,787 千円 【介護保険課】

・ 保険事業勘定 119,696 千円

過年度の介護給付費負担金や地域支援事業交付金の精算に伴う返還を行います。

《歳出：返還金 119,696 千円》

・ サービス事業勘定 33,091 千円

令和 4 年度決算剰余金を予備費に計上します。

《歳出：予備費 33,091 千円》

《後期高齢者医療特別会計》 1,670 千円 【市民課】

令和 4 年度決算剰余金を保険料負担金の精算に伴い追加納付します。

《歳出：負担金 1,670 千円》

6 専決予算で行う事業（一般会計補正予算第4号）

補
正
4
号
専
決

【新規】予防接種健康被害給付 44,484 千円 《健康推進課》

国において予防接種法に基づく予防接種を受けた方の健康被害認定がされたため、対象の方に対して給付を行います。

《国費 44,484 千円》

省エネ家電買替支援事業【新規】

担当課	環境整備課環境対策係
電話番号	0847-43-7237

1 事業の目的

省エネルギー性能の高い家電製品に買い替える費用の一部を補助することにより、原油価格・物価高騰による家計負担の軽減とカーボンニュートラル推進を図る。

2 事業内容

省エネルギー性能の高い家電製品へ買い替えた世帯に対する費用の一部補助

(1) 対象品目

- ・エアコン：日本産業規格（JIS規格）C9901に基づく省エネルギー達成率100%以上（目標年度2027年度）のもの
- ・冷蔵庫：日本産業規格（JIS規格）C9901に基づく省エネルギー達成率100%以上（目標年度：2021年度）のもの

(2) 補助対象者

- ・府中市民が自ら居住する市内にある住宅の既存の家電を、令和5年10月1日～12月31日の間に同品目の省エネ家電に買い替え、設置したもの
- ・市税（延滞金を含む）を滞納していないもの

(3) 対象器機

- ・市内店舗（家電販売店及び工事店）で購入した新品であること。
- ・製造事業者による製品保証があること
- ・国、地方公共団体その他の団体による他の補助を受けないで購入するもの

(4) 補助対象経費

- ・本体費用、工事費用、設置に必要な部品及び付帯設備費、運搬料

(5) 補助金額

対象経費が15万円を超えるとき	5万円
対象経費が10万円を超え15万円以下のとき	3万円
対象経費が5万円を超え10万円以下のとき	1万円

(6) 申請方法

電子申請方式、申請書持参、郵送方式の3種類

※予算限度額となった場合は、予算を超えることとなった日の受付について抽選を行い、順番を決める。

3 9月補正予算額 40,000千円

	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
補正予算額	40,000					40,000*
現計予算額						

※地方創生臨時交付金対象事業

府中市バスツアーによる観光誘客支援事業【一部新規】

担当課	観光・地域ブランド推進課観光振興係
電話番号	0847-43-7141

1 事業の目的

物価高騰等により経営に大きな影響が出ている市内の貸切バス事業者への事業継続の支援を行うとともに、市内の観光施設や観光コンテンツに誘客を図ることで、観光消費の喚起を促す。

2 事業内容

■ 備後府中に来てみにゃあ割 第3弾

貸切バス、貸切タクシーを利用したツアーにおける経費の一部助成

(1) 対象事業

原則として、次の条件を全て満たす受注型企画旅行又は募集型企画旅行に要する費用を対象とする。

ア バスの乗車地又は下車地を市内とした行程であるもの。

イ 市内に営業所を有する一般貸切旅客自動車運送事業者の保有する貸切バス車両、貸切タクシー車両を利用するもの。(条件の追加)

ウ 利用する車両は、市内の営業所から出庫するもの。(条件の追加)

エ 政治活動、宗教活動、冠婚葬祭、学校行事又は教育旅行でないもの。

オ 下車地が市内の場合は、市内の観光施設、食事又は体験コンテンツのうちいずれか2つ以上含む旅行であること。下車地が市外の場合は、車内持込用の飲食物又はお土産をツアー参加者1人当たり500円以上市内で購入すること。

(2) 助成金額

	補助率	上限額	備考
貸切バス1日	1/2	50,000円/台	※1 市内を発着地とし、市内を周遊する旅行プラン
※1の場合	2/3	70,000円/台	
※2の場合	1/2	40,000円/台	※2 (1)イ、ウを満たさない事業
貸切タクシー1日	1/2	10,000円/台	※1 市内を発着地とし、市内を周遊する旅行プラン
※1の場合	2/3	20,000円/台	
宿泊代	1/1	2,000円/人	対象施設は市内に限る。
食事代	1/2	2,000円/人	対象施設は市内に限る。(拡充)
体験代	1/1	1,000円/人	対象施設・団体は市内に限る。(拡充)
ガイド代	1/1	2,000円/件	対象施設・団体は市内に限る。

※ 対象費用は消費税及び地方消費税を除いた額とし、助成金額の合計額のうち1千円未満の端数は切り捨てる。

3 9月補正予算額 5,000千円

	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
補正予算額	5,000		2,500			2,500*
現計予算額						

※地方創生臨時交付金対象事業

歴史的建造物（翁座）保存・活用事業【継続】

担当課	観光・地域ブランド推進課観光振興係
電話番号	0847-43-7141

1 事業の目的

翁座は、大正時代に建築に着手され、昭和2年に落成した中国地方に唯一現存する木造芝居小屋であり、平成30年12月に市が寄附受納し、国登録有形文化財に登録されている建造物である。

この翁座については、これまで痕跡調査や保存活用検討委員会での検討がなされてきた。これらを踏まえ、文化的価値を残しながらも観光施設としての上下地域のランドマークとして活用を図る。



2 事業内容

翁座復原改修と耐震補強工事に向けた実施設計を行う。

3 スケジュール概要（予定）

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
活用検討会		活用検討委員会 ●答申						
痕跡調査		保存活用計画策定	文化財保護条例改正					
		●土日祝日 一般公開 開始		実施設計 解体調査			改修工事	
				県建築審査会 同意等協議				

4 9月補正予算額 23,000千円

	事業費	国費	県費	市債	その他	一般財源
補正予算額	23,000	11,500		11,500		
現計予算額						